

迎春

1

JANUARY
2013



こ

が

古河

広
報

No.88

年頭のごあいさつ 2

今月の特集

- まくらがの里こが 4
- 農地そして銘柄作物 6
- 火の取り扱いに注意 10
- 地域包括支援センターの紹介 11

まちの話題

- 古河提灯竿もみまつり 等 12

謹賀新年



古河市長 菅谷憲一郎

ラムサール条約で登録された渡良瀬遊水地

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様におかれましては、お健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年12月の市長選挙におきましては、お陰様で初当選の栄に浴し、市政を預かることとなりました。これもひとえに皆様方の力強いご支援の賜物と、心から厚く御礼申し上げます。

皆様からお寄せいただきました信頼と期待にお応えするため、「古河市に住んでよかった」と喜ばれるまちづくりを推進すべく全力を尽くしてまいりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、私は2年近く、茨城県議会議員として地域の皆様と対話し、皆様の気持ちや地域の実情を肌で感じてまいりました。私の信条といたしまして、市政は市民の皆様が主役となって進めていくべきと考えております。

このたびの市長選挙において、私は子育て支援と高齢者対策に軸足を置いた福祉施策の推進、さらには、ソフト政策を重視した教育最優先の古河市と、世界で活躍できる青少年の育成を訴えさせていただきました。それらを踏まえ、市民の皆様の意見を行政にしっかりと反映できるよう、施策の優先順位を十分考慮した市政を目指したいと思っております。

結びになりましたが、市民の皆様にとりまして、本年が健康で幸せに満ちた明るい年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

市長選挙

●当日の有権者数

男性 58,621人

女性 58,815人

合計 117,436人

●投票者数・投票率

男性 37,467人・63.91%

女性 38,528人・65.51%

合計 75,995人・64.71%

12月16日(日)に衆議院議員総選挙と同時に行われた市長選挙の投票は市内58カ所で行われ、午後8時から生涯学習センター総和(とねミドリ館)で即日開票されました。

投票率は64.71%で、選挙結果は次の通りです。

●得票数

当選 菅谷憲一郎 43,087 票

白戸仲久 30,404 票

(無効 2,504 票)

道の駅 まくらがの里こが

～古河の魅力を発信し、みんなに愛される施設を目指して～



7月オープンに向け着々と進んでいます

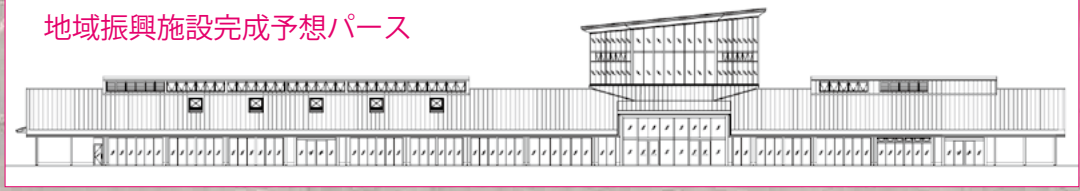
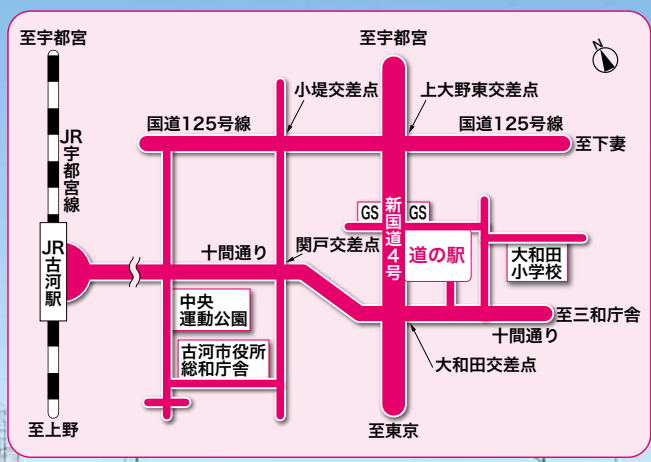
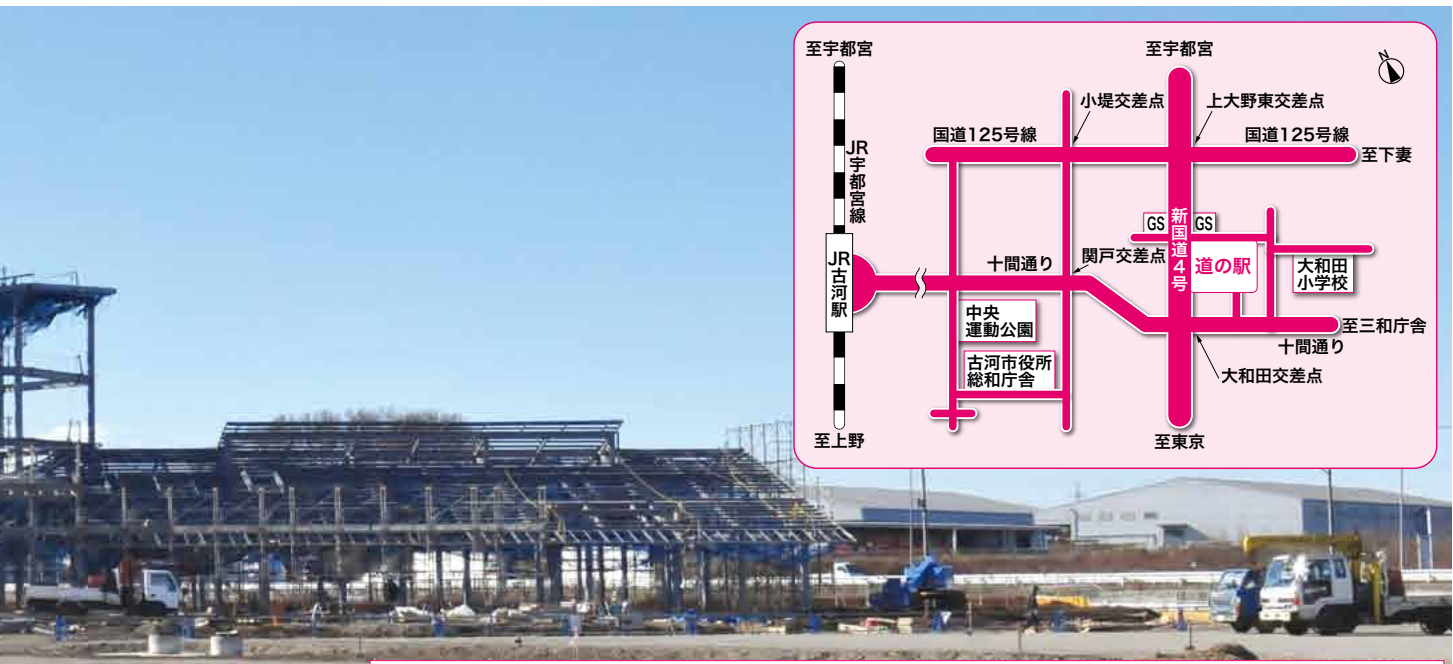
新たな情報発信基地… この施設は、国土交通省と古河市の共同事業であり、市の新たな情報発信基地として、観光、商工業、そして農業振興の拠点として、多くの人々が触れ合う施設を目指しています。

みんなに愛される施設に… 施設運営は、公募により「ダイナック・三井物産ファシリティーズ共同グループ」に決定し、農産物生産者による出荷者会や取引先会の組織づくり、新商品の開発を進め、さらに、市をPRする拠点として、いつ来ても何か新しい発見があり、皆さんに愛される施設となるよう準備を進めています。

こんな特徴が… 施設の特徴の一つに、耐震性の強化や太陽光発電、LEDの導入。また、災害時にはマンホールトイレを16基設置できます。さらに、電気自動車普及のためにEVステーションを設置するなど、防災や環境面にも配慮した施設になります。

オープンに向けて… 工事は、現在(12月末)、道の駅の本体である地域振興施設の工事を進めていて、今後は国が施工するトイレや情報交流施設を整備する予定です。

【問】 総和庁舎(本庁)
道の駅推進室 ☎ 92-3111



▲取引事業者説明会を行いました



▲完成予想模型を総和庁舎に展示しています

◆今後のスケジュール◆

- 平成25年1月 国土交通省に道の駅登録申請
- ↓
- 3月 道の駅名称登録
- ↓
- 4月 スタッフ募集
- ↓
- 5月 スタッフ研修
- ↓
- 7月 オープン

農地の話

市内には5,280ヘクタールの農地があります。

農地は食料となる農産物や花卉^{かき}を生産するために必要な土地です。

現在、農業を営む人やこれから新しく就農を志す人が、農地を正しく管理し利用するために、そして、地域の貴重な資源である農地を守るために『農地法』という法律があります。

【問】三和庁舎

農業委員会 ☎ 76-1511

～農業委員会は農業の振興と発展に貢献します～



例えばこんなときに農地法が適用になります。

○農地を売買したり、貸したりしたとき(3条申請が必要です)。

3条  **申請**

- ★農地を耕作目的で取得するときは、農業委員会の許可が必要です。
- ★耕作面積が申請地を含めて50アール以上でない場合は許可されません。

○自分の農地を他の目的で使いたいとき(4条申請が必要です)。

4条  **申請**

- ★農地を他の目的(例えば住宅、車庫、工場、資材置き場や駐車場など)に使うときは、農地以外のものに用途を変更する『農地転用』をしなければなりません。
- ★『農地転用』は、農業委員会の許可(市街化区域は届出)が必要です。ただし、農振農用地区域内の場合、農地転用の申請前に、別に農振農用地区域の除外申請を行わなければなりません。

○人の農地を買ったり借りたりして他の目的で使いたいとき(5条申請が必要です)。

5条  **申請**

農地などについて悩みを抱えている皆さんへ

～お近くの農業委員へ相談を～

例えば……

- 農地の売買、貸し借り、交換、後継者への贈与
- 農地を宅地等に転用するとき
- 農業者年金関係についてもっと知りたいとき
- 農業経営の規模拡大の方法が知りたいとき
- 農地にトラブルが起きたとき
……………など



■古河市農業委員会が お勧めします

○農業者年金

農業者のための公的年金制度です。

○全国農業新聞

全国規模の農業総合専門誌です。

※詳細は、農業委員会事務局まで問い合わせください。



農業委員の心意気

近年の農業を取り巻く情勢は農業所得の減少、従事者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加など大変厳しいものとなっています。

私たち農業委員は、一人一人の自覚と全員の総意をもって農地の保全と維持を通し、古河市の農業振興・発展に寄与することを念願として活動しています。

農家の皆さんはもとより新しく就農を考えている皆さん、どうぞ、お気軽に相談をさせていただきますようお願いいたします。

古河市農業委員会
会長 中田 義市



銘柄作物の話

肥沃な大地と首都圏60キロメートルという恵まれた立地条件の古河市の農地。

古河市の農業は、その農地に根差した生産者のたゆまぬ努力によって、稲作や露地野菜、施設野菜などを中心に都市近郊型農業として発展してきました。

古河市は首都圏における食糧供給基地としての一面を持っています。

■ご存じですか？ 古河市の野菜の産出量！

茨城県第1位 カボチャ、キャベツ、ナス

同 第2位 トウモロコシ、レタス、ニンジン

同 第3位 ハクサイ

同 第5位 ダイコン、バレイショ

同 第6位 キュウリ

(平成18年度茨城県生産農業所得統計から)



古河市の農地から生まれた恵みは、市民の皆さんの食卓にのぼる料理となり、さらには首都圏各地の家庭やレストランなどで消費されています。

そして、古河市では、農業をさらに活性化するために、茨城県の銘柄産地指定制度を利用して農産物のブランド化に取り組んでいます。

【問】三和庁舎 農政課 ☎ 76-1511



★古河の銘柄作物(※)

青果物銘柄産地指定

◆**カボチャ**……甘みが強く、ぼくぼく感がある「みやこかぼちゃ」。まるでお菓子のようなおいしさが味わえます。

◆**ニンジン**……普通のニンジンより甘みが良く、まるでフルーツのような味わいの「彩誉」。愛称は「ここ惚(ほ)れにんじん」。

かき 花卉銘柄産地指定

◆**バラ**……生産量は年間約110万本、アヴァランチェやサムライを中心に50品種を生産。

※高品質な農産物で、信頼性・安全性が市場で高く評価され、消費者ニーズに対応できる、茨城県を代表する産地であるとして県が指定した作物。



★古河の銘柄推進作物(※)

青果物銘柄推進産地指定

◆**ブロッコリー**……栽培面積、県内トップクラス

◆**サニーレタス**……露地栽培がほとんどで、市場から高い評価

◆**ニガウリ**……「えらぶ」という品種を栽培。愛称は「惚(ほ)るニガウリ」。

※これからブランド化を目指す産地として県が指定。

「人・農地プラン」作成中！

市では、銘柄作物の普及を含めて今後の市の農業のあり方について「人・農地プラン」を作成中です。

高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの地域が抱える問題を解決するための担い手の確保や農地の集積について、市民の皆さんとともに考え、方向性を決めていきます。皆さん、古河市の農業を応援しましょう。



火災の多い季節です



～消すまでは、出ない行かない離れない～

寒さもいっそう厳しくなり、家庭でも暖房器具を使う機会が多くなりました。

また、空気も乾燥し、火災が発生しやすい季節でもあります。火の取り扱いには十分注意しましょう。

古河市消防団では、春と秋の全国火災予防運動期間に巡回広報を行っています。消防ポンプ車で各地区をまわり、火災予防に努めています。

【問】 総和庁舎(本庁)消防保安課

☎ 92-3111



■ 外出や就寝前には必ず火の元の確認を

冬の暖房といえば「ストーブ」や「こたつ」などがありますが、これらの“消し忘れ”による火災が冬になると多くなります。お出掛け前やおやすみ前には、必ず暖房器具の消火の確認をお願いします。

また、火に鍋をかけたままその場を離れてしまい、起こる火災も多発しています。他の用事に気を取られているうちに火災が発生し、大切な財産を失わないためにも火の元の確認を怠らないようにしましょう。

■ 女性消防団員による防火教室を行いました

市内小学校児童クラブを対象に防火教室を開催し、女性消防団員による防火指導を行っています。

紙芝居を通して行う火遊びの怖さや消防団の役割などのお話により、子どもたちは熱心に耳を傾けていました。



■ 消防春季点検式を開催

2月24日(日)には、中央運動公園イベント広場および総合体育館において古河市消防春季点検式を開催します。消防ポンプ車が集結し、消防団員の規律正しい姿を披露します。ぜひ、ご覧ください。

高齢者の総合相談窓口 地域包括支援センターをご利用ください



高齢者の暮らしや介護・健康・福祉などについて、お困りのことや聞いてみたいことがありますら、地域包括支援センターを、ぜひ、ご利用ください。

◆こんな相談にのっています

- 一人暮らしで買い物や掃除が大変になってきた。
- 介護保険で認定されたがどうしたらよいかわからない。
- 介護で悩みがあるが誰に相談してよいかわからない。
- 虐待か、それに近いことを見たり聞いたりしたがどうしたらいい。
- 金銭管理や大事な判断に自信がない。
- 悪質な訪問販売の被害に遭い困っている。



◆場所は「健康の駅」にあります

平成18年4月に高齢者の総合相談窓口として総和福祉センター「健康の駅」に設置されました。高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して過ごせる支援を行うところです。地域の相談窓口として市内8カ所の在宅介護支援センター（下記参照）を設けています。

◆専門のスタッフがそろっています

主任介護支援専門員(介護)・保健師(健康)・社会福祉士(福祉)などが中心となって高齢者の皆さんを支援します。3職種がその専門分野を互いに活かしながら「チーム」として総合的に支援します。

【問】 地域包括支援センター（総和福祉センター「健康の駅」内） ☎ 92-5920

『地域の窓口』

在宅介護支援センター

24時間365日相談ができます

施設名	住所	電話番号	担当地域
愛光園	新久田250-4	☎48-6944	J R 宇都宮線西側で354号線北側
平成園	旭町1-17-39	☎31-3737	J R 宇都宮線東側で354号線北側
わたらせ	大山507-5	☎47-0161	国道354号線南側
青嵐荘	東牛谷456-6	☎98-0030	総和北中学校区
白英荘	小堤1796-2	☎98-6218	総和中学校区
バックアップ(総和中央病院)	駒羽根825-1	☎91-1256	総和南中学校区
秋明館	諸川2530-4	☎77-3751	三和北中学校区+三和東中学校(北東域)区
みどりの里	東山田4796-2	☎78-1123	三和中学校区+三和東中学校(南西域)区

まちの話題

初冬の寒さを吹き飛ばす！ 古河の夜を熱気で包んだ提灯竿もみまつり

12月1日、関東の奇祭と知られ、152回を数える「古河提灯竿もみまつり」が古河駅西口おまつり特設会場において開催されました。今回は、野木神社のお稚児さんによる「白拍子の舞」も披露されました。16団体が出場した競技もみでは、七軒町が優勝。約7万人の観客も大きな声援を送り、師走を感じる寒い一夜をみんなで楽しみました。



▲ろうそくの火が消えないようにするためみんなでバランスを取ります



▲工夫を凝らした提灯が激しくもみ合い熱戦を繰り広げました



▲たくさんの観客が大きな声援を送っていました

厚生労働大臣表彰

社会福祉功労者



有明三郎さん(82歳・坂間)

全国大会に出場

順不同・敬称略

- 第6回全国中学生少林寺拳法大会 大木郁人・塚原藍香・関根梨花・染野剛平・塚原翔太・山中裕亮・高橋告実・多々羅美紅【少林寺拳法茨城三和道院】
- 第7回全日本シニアレディースソフトテニス決勝大会 松本笑子【古河市ソフトテニス連盟】
- 第19回全日本シングルソフトテニス選手

- 権大会 山田 祐樹【古河市ソフトテニス連盟】
- 第40回全日本社会人ソフトテニス選手権大会 田内大貴・木崎雅久【古河市ソフトテニス連盟】
- 第16回全本シニアソフトテニス選手権大会 松本笑子・牧野佳築子・山中啓子・白畑薫・津久井久子・佐藤由美子・小蔵好恵【古河市ソフトテニス連盟】
- 日本スポーツマスターズ2012サッカー競技 ラッツオス古河FC

今年もみんなで異文化体験

12月9日にとねミドリ館で古河市国際交流協会主催の「ウインターフェスティバル2012」が開催されました。

当日は15カ国、約400人の参加があり、それぞれの国の料理を用意して食べあったり、アトラクションの披露があったりして大盛況。みんなが、笑顔を浮かべながら言語や国籍を越えた楽しい時間を過ごし、友好を深めることができました。



▲みんなフレンドリーで和気あいあい

女性起業家たちがハーモニー功労賞を受賞

11月30日、茨城県ハーモニートップセミナーが行われ、男女共同参画に先駆的な実績を残した団体・古河市女性起業ネットワーク委員会「食遊三和」がハーモニー功労賞を受賞しました。食遊三和は、平成17年に女性数人で設立。個々に起業したメンバーが地産農業を多角的に展開し、中でも新商品の開発や県内外での精力的な活動が高く評価されました。



▲受賞された「食遊三和」の皆さん

中学生人権作文コンテストで県最優秀賞を受賞

人権についての理解を深めてもらうために実施された第32回全国中学生人権作文コンテスト。今年は県内223校1万8421点の応募があり、古河一中・3年の井田萌香さんが茨城県の最優秀賞に選ばれました。吹奏楽部の活動で学び「人の個性を尊重しあう必要性を呼び掛けた」内容の井田さんの作文は、その後の法務省主催の全国大会でも奨励賞を受賞しました。



▲最優秀賞の表彰を受ける井田さん(左)

宝くじのコミュニティ助成金を活用

旭自治会と米倉行政区は宝くじの助成金(一般コミュニティ助成事業)を受け、夏祭りに使用する山車や太鼓、笛などを購入整備しました。この事業は宝くじの普及広報の一環として(財)自治総合センターが行って

いて、コミュニティ活動の促進と発展を図ることを目的です。



▲山車と引き綱を整備した旭自治会



▲太鼓や鼓、笛などを整備した米倉行政区



キラッ! 輝く人たち

「樹木医は木のお医者さん」

樹木医、地域の緑のアドバイザー、環境教育者
ふるやたかゆき
古谷孝行さん(44歳 東山田)

皆さん、樹木医をご存じですか？ 初めてお聞きになる人も多いでしょうか。人が病気にかかるように、樹木も病気にかかります。「樹木医とは木のお医者さん」と呼ばれ、全国各地の貴重な巨樹、名木、古木などをはじめ、庭木、街路樹、公園や緑地にある身近な樹木の診断と治療に携わっています。今回は、樹木医として、また、地域の緑のアドバイザー、環境教育者として新しい分野を開拓し活躍しているフルヤ緑販(株)の古谷さんをご紹介します。



樹木の診断と適切な治療 を行う樹木医

全国に2,000人しかいない樹木医。県内には42人、県西には2人しかいません。受験するには多年の実務経験が必要な中、家業を継ぐことになったことがきっかけとなり、若くして資格を取得した古谷さん。ただ樹木を販売するだけでなく、販売以外に樹木の病気を治すことを学び、仕事に役立てようと思いついたことが大きな動機でした。資格を得たことで新しい人との出会いが生まれ、人間として新たな成長ができたそうです。

古河市の公園の樹木も支えていきたい

植木の生産業を営みながら、樹木医として、台湾で樹勢回復、社会人講師として愛知万博

での講演や小学校や高校などの講師など家業とは別の新たな生活が始まりました。また、公園などの樹の命を守る手伝いもしています。古河総合公園内にあるたくさんのハナモモの樹木なども「地球市民」で、人間と同じ。同じ場所にたくさん集まっていれば、病気にもなってしまう。まずは人間と同じように持つ「適応力」や「自己治癒力」を生かし、年老いた樹木や病んでいる樹木の「生きようとしている力」にぜひ手助けを続けたいと考えています。

樹木の命を守る大切さ

今、さまざまな生物が地球環境の恩恵を受け共存していますが、この複雑な地球生態系を形作り支えている一つが樹木です。これら重要な樹木の命をしっかりと守るとともに、地域

の人々と力を合わせて樹木文化の継承と発展を目指していくことや、貴重な財産である樹木を守ることが、大きな意味で、「自然保護で地球環境を守ることになるのではないか」と日頃から考えています。

樹木医として未来を担う責任を背負いながら、「緑、自然を未来の子どもたちに残していきたい」とその強い願いを持って今日も精力的に行動している古谷さんでした。



▲聴診器を当てて樹木の診断を行っている古谷さん(中央)

図書館のオススメ

◇児童書

・おとうさんのかさ

三浦太郎 著

雨がふってきました。「おとうさん、傘をもってでかけたかしら」心配になったメルシーちゃんは、お父さんの大きな傘をさして、外にかけだしました。すると、カナリアが、傘にいらてほしいと、やってきました。メルシーちゃんは、カナリアを傘にいらてやりました。次にやってきたのは…。出版社…のら書店 分類…Eオ

・ゆきひらの話

安房直子 著

畑の中のいっけん家で、かぜをひいたおばあさんがたっ

人でねていました。台所でコトコト音がするので行ってみると、声がします。「ぼく、ゆきひらです」それはしまいっばなしの古いおなべだったのです。ゆきひらはおばあさんのために、りんごのあま煮をつくってあげることに…。出版社…偕成社 分類…913コ



◇一般書

・大人になりきれない

平山瑞穂 著

自称美人の野方沙耶、32歳。女性にモテていると勘違いしている末松徹、30歳。BL好きの既婚者・國枝奈央子、29歳。見た目は立派な大人だけど、いまだに戸惑い多き青春を生きる「働くアラサーたち」をシニカルに描く。出版社…PHP研究所 分類…Fヒ

・戦国城事典

吉田龍司 著

戦国時代に存在したとされる907の城(館も含む)を、北海道から九州・沖縄の順に国ごとにまとめて、各地方ごとに紹介。立地形態、築城年・廃城年、城主などのデータも収録。出版社…新紀元社 分類…210.4ヨ 古河図書館

注目企業人!

～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～

「人と人のつながりを大切にしています！」

こざきよしひろ

小笹佳大さん 20歳・駒羽根 日本バイリーン(株)東京工場 勤務

入社2年目の小笹さんは、不織布製造会社でハイブリッド車用「電池セパレータ」の生産に携わり、「まだ分からないことは多いが、一つのことを覚えるとそれが先へ先へと広がり、結果として良い製品ができあがったときにやりがいを感じます」とハツラツとした表情を見せてくれます。

小学校から高校まで、野球に打ち込む毎日。厳しい練習に励むとともに、中学では副主将、高校では主将と、みんなを引っ張る立場を経験。そして、野球を通して学んだ「礼儀」やリーダーとしての数多くの体験が、「チームワークと協調性が重視される今の職

場に生かされている」と話します。「今後も、『和』のつながりを大切にしながら、尊敬している上司や先輩のように、後輩の面倒見が良い社員になりたい」と最後までスポーツマンらしい思いを語ってくれました。

■プロフィール

足利市出身。野球のポジションはキャッチャー。一人暮らしを始めた今では家事が大好きに。休日は職場の仲間とソフトボールで楽しく汗を流します。



古河ヒストリー

◎オカマ様と注連縄 —留守をまもる神と旅立つ神—

お正月なのにこんな話をするのもなんですが、10月^{かん なづき}神無月のことについて調べる機会があり、全国各地でいわれている神様が出雲大社に参集するということについて、考えてみました。まずは注連縄^{しめなわ}の話から。

四半世紀も前のことですが、上大野のSさんのお宅をお邪魔していたら、明治生まれの当時の御当主が、土間への入口にかけてある注連縄について、お話ししてくださいました。「この注連縄は、ハッチョウジメっていうんだ。ウチん中には14カ所注連縄をかけるところがあるんだけど、ハッチョウジメはここだけだ。そんでまた、ここは毎年かけ替えしないで、新しい年を迎えっと、新しいのを重ねてかけるんだ」と。見ると、入口の戸の上に幾重にも注連縄がかかっています。

お正月の神様を迎えるにあたって、すべてを新たなものにするものでもないのかと、理由もわからずに、なんとなく知ったつもりになっていました。

その後も、いくつものお宅を訪ねては、家の神様を拝見し続けてきましたが、仁連江口では、竈^{かまど}の神様(オカマ様)の注連縄が

天井から、ごっそりと下がっていました。やはりかけ替えをするものではなく、上から新たな注連縄をかけるのだといいます。

この仁連江口のお宅のように、竈の神様の注連縄をかけ替えないところは、けっして珍しいわけではなく、近隣においては群馬県板倉町で、そのいわれを次のように伝えています。「10月は諸国の神々が出雲大社(島根県出雲市)へ参集し、縁組みの相談をする。そのため、神様がいなくなってしまうので神無月と呼ばれている。このとき、家の留守をまもってくれている神様がオカマ様で、10日・20日・30日に団子を供えるのだ。また、オカマ様には36人の子どもがいて、事情があって、そのうちの1人を注連縄で隠す必要があったため、毎年重ねて注連縄をかけるのだ」と。

話が神無月の10月に飛んで行ってしまいましたが、どうか御勘弁のほどを。じつは、このように神無月に出雲へ^{おもむ}赴かない神々には、オカマ様のほか、エビス様・水神様・山の神様・田の神様などもそうだといっている地方もあります。これらは常に生活に密着した神々で、場所

も生活空間のなかに取り込まれている。いわば、神社のような大きなところへは積極的にまつられることはあまりないが、家や家族の守護神としてひかえめながら、屋敷や家屋等にまつられることが多いものたちのようです。そういった意識のもとに、注連縄は寸断無く重ねられていくのでしょうか。とりわけてオカマ様がまつられる竈は、「食べる」という人間の根源的な営みでは、たいへん重要な場所でもあったことですし。ガスコンロや、クッキングヒーターにもっと感謝せねばなりません。とはいっても、寒がりのわたくしは、どちらかという、冬はコタツやストーブに感謝してしまうのですが。「穴荒て狐も留守よ神の供(正岡子規)」

古河歴史博物館学芸員 立石尚之



▲オカマ様の注連縄は毎年かけ替えない(仁連江口)

文化の扉

谷貝の巳待供養塔

今年の干支は癸巳(キシ・みずのとみ)で巳年となります。三和資料館ではミニ展示「巳年にちなんで」を1月5日から30日まで開催(「古河市新指定文化財展」と同時開催)しますが、そこでも取り上げる「巳待供養塔」を紹介します。

巳待とは己巳待ともいい、庚申待・甲子待などと同じように、人々が特定の日、己巳(キシ・つちのとみ)の日、あるいは前日の戊辰(ボシン・つちのえたつ)の日や巳の日などに決められた場所に集まり、夜遅くまで起きていて精進供養をする巳待行事のひとつです。この巳待の供養に造立されたのが巳待供養塔です。巳待の本尊は弁才天とされ、己巳の日は弁才天の縁日とされています。



▲谷貝の巳待供養塔

市内谷貝の香取神社境内にある巳待供養塔は高さ84cmを測り、反花がついた基礎の上に建つ角柱の供養塔は、頂部にホゾがあるので、もとは笠石が載っていたと思われます。正面中央上部に蛇が鎌首をもたげているような形の梵字「ウ」を刻み、その下に「奉供養巳待如意成就所」、左右に「享保七壬寅歳下総国」「三月吉祥日谷貝町」、下部に「理兵衛 伊左衛門 佐右衛門 清市 長次良 忠左衛門」とあります。古河市内で現在確認されている巳待供養塔はこの1基だけで、享保7(1722)年谷貝町で理兵衛ら6人による講により巳待供養が行われたことを知る貴重な石造文化財です。

三和資料館

古河市にゆかりのある小説や人物を紹介

古河文学・人物館

古河の文学の未来へ「1ページの絵本」

さる12月2日、平成24年度・第5回「1ページの絵本」の表彰式が執り行われました。

この「1ページの絵本」は、古河出身の鷹見久太郎が創刊し、児童文学史に大きな足跡を残した絵雑誌「コドモノクニ」「コドモノテンチ」を彩った絵に付ける新たな詩・物語を公募するというものです。文化的財産に恵まれ、戦前から数々の同人誌が発行されるなど、盛んな創作活動の伝統があり、数多くの文学者を輩出している「文学のまち・古河市」ならではのユニークな事業といえます。第5回目を迎えた本年度は、市内はもとより、北は北海道から南は九州・長崎県にいたるまで、全国各地から小中学生の部で1,829点、



▲入賞者一人一人に賞状・記念品が手渡されました

一般の部で369点にのぼる作品が寄せられました。いずれ劣らぬ作品の中、市内在住の詩人・児童文学者の厳正なる審査により、大賞・準大賞をはじめとする入賞作品が決定しました。

選考委員の一人、詩人の粕谷栄市氏は講評の中で「困難な現実にあって、私たちの暮らしを豊かにするのは、何よりも、夢見る力、自由な想像力だ。全ての未来はそこから始まる。『1ページの絵本』の課題は、そのことを、みんなと考えることでもある」と述べています。古河の文学的風土を受け継ぎつつ、新たな未来を切り拓く「1ページの絵本」。今後も、瑞々しい感性あふれる素晴らしい作品に出会えることを期待しています。 古河文学館 秋澤正之

合併症が怖い糖尿病

～適切な対応がその後の人生を左右～

健康診断などで「血糖値が高い」と言われたら、注意しなくてはいけない病気は「糖尿病」です。この病気にかからないために、普段から食事や運動に注意して生活しましょう。

Ⅰ 糖尿病はこんな病気

●ブドウ糖の量を示したのが血糖値

私たちが食べたり飲んだりしてそれが消化されると、ブドウ糖というものが血液中に作られます。そのブドウ糖の血液中の量を示したものを血糖値といいます。

ブドウ糖は体を動かすエネルギー源で、インスリンというホルモンの働きで体中の細胞に運ばれて、筋肉や臓器で使われたり蓄えられたりしています。糖尿病になると、インスリンが足りなくなったり、うまく作用しなくなったりするので、血糖値が慢性的に高い状態になってしまいます。

●食べすぎや運動不足に注意

糖尿病の原因は、ほとんどが食べすぎや運動不足が原因で起こります。インスリンをつくる細胞が何らかの原因で破壊されて分泌できなくなって起こる場

合や、肝臓や膵臓の病気、遺伝子の異常、免疫の異常、感染症、妊娠などが原因になる場合もあります。

Ⅰ 恐ろしい合併症

●さまざまな合併症があります

血糖値の高い状態が続くと、全身の血管が障害され、体にさまざまな合併症が現れます。細かい血管が障害されると、失明する恐れのある「網膜症」、腎臓の働きが低下し透析治療が必要になることもある「腎症」、足先の感覚麻痺などが起こる「神経障害」などが起こります。

また、太い血管が障害されると、動脈硬化が進行し「心筋梗塞」や「脳梗塞」などが起こることがあります。

合併症が起こってしまうと、日常生活に支障をきたす恐れがあります。合併症を防ぐためには、血糖値を正常に保つことが重要です。

Ⅰ 血糖値が高かったら…

●定期的なチェックが大切

普段から食事や運動に気をつけて、定期的に血糖値をチェックしましょう。また、とても喉が渇く、尿の回数が増えて量も

多い、疲れやすい、体がだるい、食べても食べてもやせるなどの症状があるときは、糖尿病の場合があるので医療機関を受診しましょう。

●食事療法や運動が効果的

血糖値が高いと言われたら、主治医に相談し、血糖をコントロールすることが大切です。血糖値を下げるためには、食事療法や運動療法が効果的です。状態によって内服やインスリン注射などの薬物療法を行います。糖尿病と診断されても、適切な対応をすることで日常生活を送ることができるのです。



健康推進課

憩いのパークの魅力



冬の手入れ、肥やして、癒して、春を呼ぶ

冬の管理のエトセトラ

冬は、草も生えないし、やることなくていいわねえ？なんて思っている人、いらっしゃいませんか！そんなことはないんです。春に向けて、冬の間にはしなければならない作業がたくさんあります。

例えば、桃林管理。基礎体力づくりのための有機肥料と花付きを良くするための発酵鶏糞を施します。肥料は地表にばらまくのではなく、根の周りに5～6カ所小さな穴を掘って埋めます。2,000本近くあるのですから、なかなかの作業です。また、春に発生する縮葉病を防ぐための石灰硫黄合剤の散布は欠かせることができません。植え替えは、根っこが休眠中の冬の期間が適期です。枯れた株の掘り起こしも冬に行っています。

次に、雑木林の管理。ササ刈りは、野草が姿を消している冬が適期です。それでも無分別に行ってしまうと、次の世代を担う赤ちゃんの木まで、一緒に

全て刈ってしまうことになってしまいます。そこで活躍してくださるのが、公園内で里山保全活動に取り組んでいる“もりもりクラブ”の皆さんです。ササ刈りの前に、残す必要がある低木類に赤いテープを巻いて、作業が効率よく行えるようにしてくれます。

また、大賀蓮池では毎年恒例の土手の水漏れ箇所補修です。犯人は、地中を自由自在に動き回るモグラです。思うがままにはさせまいと、こちらも土中に竹柵を差し込んだり、石ころを混ぜたりと、工夫を凝らしていますが、いずれも決定打にはならず、モグラとのイタチごっこが続いています。

新たな年を迎え、古河総合公園は開園38年目になります。皆様のご来園を、心からお待ちしています。

【問】古河総合公園管理棟

☎47-1129 FAX48-5685

✉sougou-park@koga-kousya.or.jp

🌐http://www.koga-kousya.or.jp/koga-park/index.html

表紙写真



「朝日に包まれる古河」

2013年、平成25年が幕開けしました。今年（み）は巳年。今年一年が何事も努力が実を結ぶ素晴らしい年になりますように……。

※古河バルーンクラブの協力により、バルーンに乗ってリバーフィールド古河の上空200メートルから撮影しました。

古河市データ

人口



(12月1日現在) 住民基本台帳から
 総人口… 146,478人 (+29)
 男……………73,502人 (+31)
 女……………72,976人 (-2)
 世帯数…56,900世帯 (+61)
 () 内は前月比

わが家のアイドル



だいま しょうま ゆうせい
基 翔真くん・**結成**くん (5歳、2歳・仁連)

家では“ヤンチャ坊主”、外では“レンタルされた猫”のような二人です。今は、2人とも仮面ライダーにハマっていて、「変身！」と言いながら家中駆けまわっています。これからも仲良く元気に育ってくれることが、パパとママの願いです。

(父：孝之・母：陽子)

今月の料理

えびしんじょ椀

<高血圧予防食>



①えび16匹は背わたをとり、ねっとりとするまでたいてのばす。②タマネギ1/4個はみじん切りにし、熱湯にくぐらせてざるに上げ、冷水にさっと浸してから水気をきる。ペーパータオルで水分をしぼり、塩と片栗粉各少々をまぶす。③すり鉢に①を入れ、塩少々を加えてよくすり、卵白1/2個分を加え、なじんだらおろしたヤマトイモ50gをあわせる。④②のタマネギを加え、木べらでざっくりと合わせる。⑤鍋にだし汁3カップを火にかけ、煮立ったら④をスプーンで一口大にすくって静かに入れる。⑥中火で2分煮て、火が通ったら取り出す。⑦白みそ20gを溶き入れ、火を止める。⑧お椀に三つ葉と飾り麩を適量とえびしんじょを入れ、⑦の汁を注ぎ、ユズの皮をのせる。〈4人分〉

〈1人分〉

エネルギー=98kcal
 タンパク質=9.3g
 脂質=2.9g
 カルシウム=45mg
 食塩相当量=1.0g



(食生活改善推進協議会)

日々奮闘!



子育てアドバイス

「幼児期の食事のポイント」

また、この時期は食事の量にムラが出てきたり、食べ物の好き嫌いがでてきます。日頃の動きが活発で、体の調子も変わりなく元気であれば、あまり食べないときがあっても心配ありません。食事時間を延ばしたり、だらだら与えたりせず

食生活の基本となる味覚は幼児期から形成されるといわれています。多くの食品の味を経験することで、食はず嫌いを防ぐことができます。特に野菜、中でも緑黄色野菜、そして、魚など苦手なまま大人になってしまふことを防ぐことが大切です。

旬の食材にはその季節に必要な栄養素を多く含んでいるものが多いです。冬には、冬の旬の食材【ぶり、たら、鯛、ホウレンソウ、ブロッコリー、カリフラワー、イヨカン、ミカン、キウイ(国産)】をたくさん使った料理を食べると、体を温める栄養を多く取り入れることができます。お勧めです。



に、時間を決めて食事をすることが大切です。また、無理強いしてしまうと、食事の時間が『楽しい時間』ではなく、『嫌な時間』とイメージがついてしまうので、気を付けましょう。

幼児期は通園や通学のための準備期間でもあるので、できるだけ家族そろって楽しい食事ができるといいですね。食事を工夫することによって、家庭の味を子どもに伝えることもできますし、会話も増えます。そこで、家族とコミュニケーションが図れ、自然にマナーも身に付きます。

普段から、『楽しい時間』
 Ⅱ【楽しい食卓】を心掛けるようにしましょう。

健康推進課

平成25年1月1日発行

発行所/〒306-0291 茨城県古河市下大野2248 古河市役所
 編集/広報室 ●ホームページ/ <http://www.city.furukawa.jp/>

☎0280(92) 3111